



第 28 回

全国中途失聴者・難聴者福祉大会

in 平和の都ひろしま

きんさい みんなさい つながりんさい
～折り鶴舞う ひろしまの地より 全国へ～



大会要項・申込要項

【開催期間】

2024 年 11 月 23 日(土・祝)・24 日(日)・25 日(月)

【会場】

11 月 23 日(土・祝) 13:00～

●分科会 13:00～16:30

JMS アステールプラザ(広島市中区加古町 4 番 17 号)

TEL(082)244-8000 FAX(082)246-5808

第 1 分科会

2 階 中ホール

第 2 分科会

2 階 多目的スタジオ

第 3 分科会

4 階 大会議室 A・B

第 4 分科会

広島平和記念資料館 メモリアルホール(地下 1 階)

(広島市中区中島町 1 番 2 号)

TEL(082)241-4004 FAX(082)542-7941

●懇親会 18:30～20:30

広島市文化交流会館 銀河(3 階)

(広島市中区加古町 3 番 3 号) TEL(082)243-8881 FAX(082)243-8543

11 月 24 日(日) 9:30～15:00

●記念式典・講演・アトラクションなど

JMS アステールプラザ 2 階 大ホール

11 月 25 日(月)

●宮島観光(世界遺産)

観光ガイド&要約筆記が付きます。

要約筆記・手話通訳あり

大会スケジュール

【大会期間】	2024年11月23日(土・祝)・24日(日)・25日(月)
【開催場所】	JMSアステールプラザ 他

【1日目】 11月23日(土・祝)

時間	内容	会場
12:00～13:00	受 付 (各分科会会場にて)	JMS アステールプラザ
13:00～16:30	第1分科会 (補聴器・人工内耳部／ きこえの健康支援部／国際部 合同企画) 『難聴とフレイル：豊かなコミュニケーション環境を めざそう』プラス『国際部ネパール支援総括報告』	2階 中ホール
	第2分科会 (要約筆記部) 『コロナ禍で何が変わったか』 ～ 要約筆記利用好事例 ～	2階 多目的スタジオ
	第3分科会 (耳マーク部) 「制定50周年!!耳マークの過去・現在・未来」 ～「耳マーク」は共生社会の【推しマーク】～	4階 大会議室A・B
	第4分科会 (ひろしま実行委員会) 平和について学ぼう ～広島の被爆体験と平和のメッセージ～	広島平和記念資料館 地下1階 メモリアルホール
18:00～18:30	受 付 (3階 宴会場ロビー)	
18:30～20:30	懇親会 【アトラクション】 手話ダンスSign、ひろしま実行委員のパフォーマンス	広島市文化交流会館 3階 銀河

【2日目】 11月24日(日)

9:00～9:30	受 付	JMS アステールプラザ 2階 大ホール
9:30～9:50	オープニングセレモニー 和太鼓演奏(天手鼓舞)	
10:00～11:10	記念式典 挨拶、祝辞、表彰状・感謝状授与、大会決議等	
11:15～12:30	全体会(講演) テーマ「聴覚障害者福祉の施策の現状」 講師：吉元 信治 氏 (厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部企画課 自立支援振興室 室長補佐)	
12:30～13:30	昼 食	4階 大・中会議室
13:30～14:30	アトラクション 広島神楽「八岐大蛇」上演 (羽佐竹神楽団)	JMS アステールプラザ 2階 大ホール
14:40～15:00	引継ぎ式・閉会セレモニー	

【3日目】 11月25日(月)

8:00～15:30	24日大会終了後～ 1泊2日観光in宮島(世界遺産)	宮島コーラルホテル (宴会・宿泊)
------------	-------------------------------	----------------------

第Ⅰ分科会

(補聴器・人工内耳部、きこえの健康支援部、国際部合同企画)

『難聴とフレイル：

豊かなコミュニケーション環境をめざそう』

プラス『国際部ネパール支援総括報告』

11月23日(土)13:00～16:30

会場：JMS アステールプラザ

司会進行：南 由美子 氏

2階 中ホール

講師：石野岳志氏(広島大学病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科講師)

助言者：佐野竜平氏(法政大学現代福祉学部教授)

パネラー：本山和彦氏、原 弘幸氏、畠山 修氏、瀬谷和彦氏

ネパール支援報告：宮本忠司氏、南由美子氏、小谷野依久氏

瀬谷和彦氏

＝分科会アピール＝

この分科会は、前半が「難聴とフレイル」、後半が「国際部ネパール支援」の二本立てで行われます。

「フレイル」は、「健康な状態」から「介護が必要な状態」へ心身の機能が落ちていく段階をいいます。難聴は、介護が必要な認知症のもっとも大きな原因です。そのため、「フレイル」の進行を抑える予防対策が健康寿命の観点から重要になります。予防は高齢の方のためだけではありません。若年層も対象になります。

では、どうすれば予防できるのでしょうか？コミュニケーションが豊かになるような支援「コミュニケーション支援」が必要ではないでしょうか？

本分科会では、石野氏より「難聴とフレイル」についてご説明いただきます。そして、視点をコミュニケーションに絞り、「フレイル予防」のために全難聴が、地元協会が、そして私たちがやれることは何なのか？全難聴提唱の「きこえの健康支援構想」を軸にパネルディスカッションでさらに探っていきます。

この後、今年いっぱい活動を終了するJICA(国際協力機構)委託によるネパール難聴者支援事業「カトマンズの病院における難聴患者の意思疎通支援パイロットプロジェクト」の総括報告があります。このプロジェクトでどのような成果が得られたのか、今後どのように進展していくのか、について報告します。

文化の違いはあれども「コミュニケーション支援」に国境はありません。そして、これらの支援こそ全難聴がめざすデシベルダウンにつながるのではないのでしょうか？

「フレイル予防」と「コミュニケーション支援」、言葉は違えど、基本は同じです。この分科会で互いに議論しあい、かつ楽しく有意義な時間を過ごしましょう！

第2分科会（要約筆記部）

『コロナ禍で何が変わったか』

～ 要約筆記利用好事例 ～

11月23日(土) 13:00～16:30

会場：JMS アステールプラザ 2階 多目的スタジオ

司会進行：江連 紀子 氏（全難聴要約筆記部）

座 長：藤谷 弘晃 氏（全難聴要約筆記副部長）

パネリスト：宇田川芳江 氏（全難聴要約筆記部長）

パネリスト：長尾 康子 氏（全要研理事長）

パネリスト：山岡千恵子 氏（名古屋市登録要約筆記者の会会員・
全要研前理事長）

報告者：園田 雅隆 氏（鹿児島県中途失聴者・難聴者協会）

=分科会アピール=

コロナ禍は私たちの生活に大きな影響を与えました。特に、中途失聴・難聴者にとっては、コミュニケーションの面で多くの課題に直面しました。

本分科会では、コロナ禍での経験を共有し、要約筆記や要約筆記制度の現状と課題について深く議論します。中途失聴・難聴者の支援に関わる要約筆記者や、実際に要約筆記を利用している方々の体験談を通じて、今後の支援体制の構築に向けた具体的なアイデアを探ります。

JDFを通じ、能登半島地震の被災地に、現地の要約筆記者や、遠隔要約筆記を利用して支援を行った方の報告があります。

ぜひご参加いただき、共に未来の支援体制について考えましょう。

第3分科会 (耳マーク部)

制定50周年!! 耳マークの過去・現在・未来 ～「耳マーク」は共生社会の【推しマーク】～

11月23日(土)13:00～16:30

会場：JMS アステールプラザ 4階 大会議室 A・B

司会進行：中筋 久子 氏

1部 「耳マークの運動について」

～耳マークの誕生と先人たちの歩み～

講師 荒川 清美 氏

2部 「近年の普及活動と耳マークの現状」

講師 小倉 鉄郎 氏

3部 「耳マークと私」 (体験発表 数名・意見交換)

進行役 黒田 和子 氏

※全体アドバイザー：宿谷 辰夫 氏



＝分科会アピール＝

「耳マーク」は、難聴当事者が発案し、プロのデザイナーの協力を得て、1975年に制定されました。来年(2025年)には、制定50周年を迎えます。

これを機に「耳マーク」の過去を振り返り、現在地を確認し、未来を展望することで、より一層の普及に繋げるアイデアを共有し、飛躍を目指します。

耳マークは、私たちの社会参加を後押しするシンボルマークなのです。

全国のコンビニエンスストアやスーパーマーケットなどへの活用が広まり、目にする機会の増えた耳マーク推しブームをパワーに、全難聴のみならず社会全体の底上げを目指し、共生社会推進の機運を盛りあげていきましょう。

★耳マークグッズの販売は11月24日(日)に1階市民ギャラリーで行います。

第4分科会 (平和の都ひろしま実行委員会)

平和について学ぼう

～広島の被爆体験と平和のメッセージ～

11月23日(土)13:00～16:30

会場：広島平和記念資料館 地下1階 メモリアルホール

司会 長谷川 純 氏

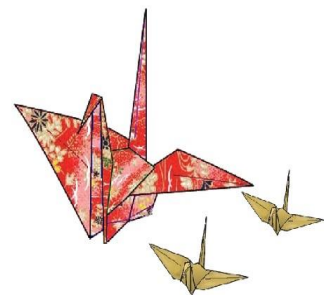
1部 13:00～14:00

平和学習講座 講師 宇佐川 弘子 氏

2部 14:10～15:10

被爆者体験講話 講師 小倉 桂子 氏

3部 15:10～16:30



平和記念資料館など見学

2019年4月、平和記念資料館の本館がリニューアルオープンされました。

資料館近くのG7広島サミット記念館、被爆遺構展示館なども、ご見学ください。

＝分科会アピール＝

1945年8月6日、広島に世界で初めて原子爆弾が投下されました。数十万人以上の死傷者を出すとともに、原爆の後遺症は、被爆者やその子孫に長期間にわたって影響を及ぼしました。放射線被害による癌や遺伝的な影響、心身の健康への悪影響などが報告されています。また、被爆者に対する差別も問題となりました。被爆者は爆風や放射線による被害のほか、社会的にも偏見や差別に直面しました。これは被爆者の身体的な影響だけでなく、原爆という出来事への誤解や無知、あるいは核の恐怖に起因することがあります。被爆者が他の人々から隔離されたり、仕事や結婚において差別を受けたりすることもありました。差別に対しては、被爆者やその支援者たちが、被爆者の権利や尊厳を守るために闘いました。

被爆者の声や思いは、戦争の傷跡を次世代に引継ぎつつ、平和と協力の道を進むための力強いメッセージとなっています。被爆者たちの願いは、核兵器を持たずに平和な世界を築くこと、国際的な協力と理解を促進し、戦争と暴力を克服することです。

このテーマを通じて、広島からの平和のメッセージをより深く理解し、その意義を参加者と共有する貴重な機会となるでしょう。

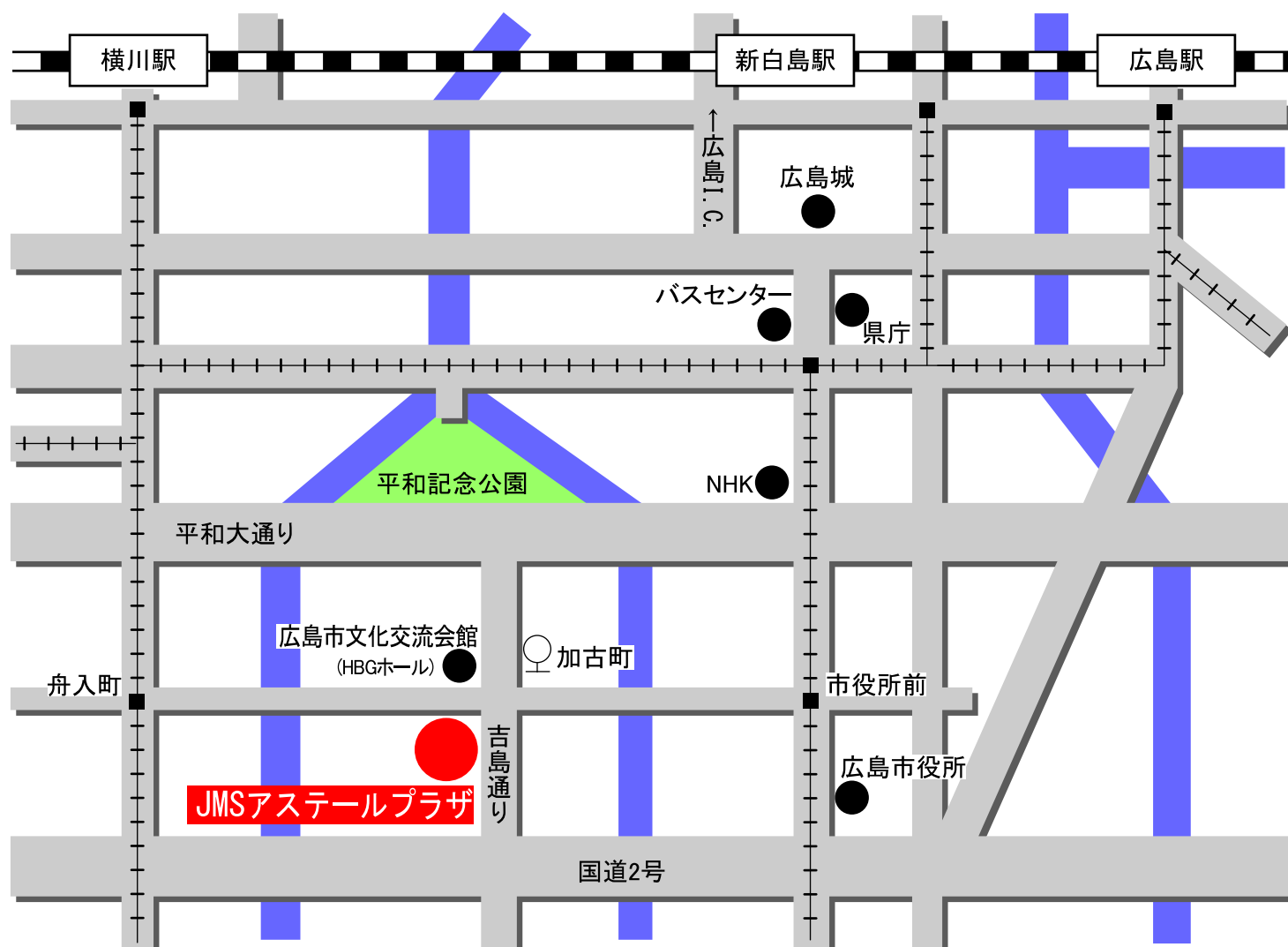
大会会場

JMS アステールプラザ

※JMS アステールプラザ 1 階
「レストラン ラコントル」は
2022 年 11 月 30 日をもって
閉店しました。



交通案内



《JR広島駅から》

【市内電車利用の場合】

宇品行（紙屋町経由）－ 市役所前下車（600m）
江波行 － 舟入町下車（400m）

【バス利用の場合】

広島バス24号路線
吉島営業所行または吉島病院行 － 加古町下車（200m）

【タクシー利用の場合】

約15分

JMSアステールプラザ

〒730-0812 広島市中区加古町4-17

電話 082-244-8000 FAX 082-246-5808

電子メール naka-cs@cf.city.hiroshima.jp

WEBサイト <http://h-culture.jp/>